

指定候補文化財説明資料

中依知^{れんしょうじ}蓮生寺所蔵 紙本著色^{しほんちゃくしよく}仏涅槃図^{ぶつねはんず} 狩野惟信^{かのうこれのぶ}筆

- 1 名称及び員数 紙本著色仏涅槃図狩野惟信筆 1 幅
- 2 文化財の種類 有形文化財（絵画）
- 3 所在地 厚木市中依知679番地
- 4 所有者の所在地及び名称 厚木市中依知679番地
宗教法人蓮生寺 代表役員 難波則光
- 5 構造・法量 紙本著色 掛幅 縦225センチメートル
横145センチメートル

6 所見

本資料は、中依知蓮生寺に伝わる涅槃図であり、表具裏面及び箱書等の墨書から、天明5年(1785)2月に什物として納められた事が分かる。

涅槃図は釈迦入滅の場面を描いたもので、2月15日に営まれる涅槃会において用いられるものである。

画面右下には「中務卿養川法眼藤原惟信筆」の銘と朱印があり、作者は江戸幕府奥絵師を務めた木挽町狩野家7代の狩野惟信である。また、表具裏面の墨書によると、文久2年(1862)9月に修復が行われており、その際に多くの檀家から寄進を受けていることが分かる。

以上のことから、本資料は狩野惟信による大幅の作品であり、優れた画風で美術的価値が高いことに加えて、裏書には寄進者として近隣地域の多数の人物が名を連ねていることから、檀家の信仰心の篤さが窺われ、歴史的な価値も非常に高いことなどから、厚木市にとって、地域の歴史を考える上で極めて貴重な資料であると考えられる。

